

事業名		事業期間		令和7年度 ～ 令和9年度						
		所 管 課		教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進室生涯学習担当						
交付金事業の概要		青少年の家を、ハード・ソフト両面での利用活性化策に取り組むことで、全く新たな観光施設に生まれ変わらせ、本市南部地域の交流人口増加の起爆剤となる新たな拠点施設として再整備する。 ＜交付金を活用した利用活性化策＞ ①ハード面 下記のとおり、大規模改修を実施する。 ・快適で居心地の良い施設にするため、内装の木質化や改修等を行う。 ・より利便性の高い施設とするため、各居室の配置の変更や設備の改修、各種備品の調達を行う。 ・浴場及び脱衣室の改修（木質化及び面積の拡大など）を行い、平日の利用者増加を図るため、新たに日帰り入浴を導入するとともに、冬季の寒さを活かし集客を図るため、公共施設としては珍しい屋外サウナエリアを設置する。（利用者アンケートで約1割の方が「施設内にサウナや岩盤浴が欲しい」と回答） ・現在、利用の少ない企業による利用を増加させるため、施設内の研修室における企業の研修セミナーや、学校のオリエンテーションに活用可能で、潜在的なワーケーションニーズにも対応可能なICTウォールの導入（研修室の壁1面をプロジェクターを投影できるホワイトボードに改修）の導入によって、特に平日の利用者増加を図るとともに、市外からの利用を促進し、交流人口の増加を図る。 ②ソフト面 ・リニューアルオープンを予定している2029年4月には、リニューアルオープン記念イベントを開催し、和泉市の観光大使によるトークや地元小学生による演奏等のステージイベント、キッチンカー等の出店などにより、多くの集客を図る。								
		事業の背景及び目的		(1)本市の人口について 本市は、大阪府の南西部に位置し、高度経済成長期以降、大規模な住宅地開発が行われ、大阪の典型的なベッドタウンとして人口増加を続けて発展してきた。しかしながら、住宅地開発が終息に向かう中で、社会減、自然減が併発し、2015年をピークに人口減少に転じており、今後さらに、生産年齢人口の減少、老年人口の増加が進むと見込まれている。今後は、「ベッドタウン」だけでなく、本市の独自性を生かしたまちづくりが求められている。＜総人口：2015年 186,109人 ⇒ 2024年 182,630人 ⇒ 2051年 152,400人、生産年齢人口：2015年 115,613人 ⇒ 2024年 111,554人 ⇒ 2051年 78,209人、老年人口：2015年 42,638人 ⇒ 2024年 47,715人 ⇒ 2051年 59,064人、合計特殊出生率：2018年度 1.27、2022年度1.24＞ 特に、本市の南部地域においては、人口減少・少子高齢化が顕著であり、若年人口が減少し続けている。 ＜南部地域の総人口：2015年 6,000人 ⇒ 2024年 4,926人、生産年齢人口及び年少人口 2015年 4,085人 ⇒ 2024年 2,888人、老年人口 2015年 1,915人 ⇒ 2024年 2,038人＞ (2)まちづくりの方向性 そのような中、本市は、大阪都市部から約25km、関西空港から約20kmの距離に位置しており、アクセス面で好立地であり、近年では「コストコ」や「ららぽーと和泉」などの大型商業施設が開業し若者の来訪が増加している一方で、南部地域には豊かな自然があり、「和泉みかん」や「いずもく」といった地場産品が多数あり、都会と田舎の良いとこどりの「トカイナカ」としてまちづくりを推進している。 この恵まれた環境を活かし、観光の促進を図り、都市部からの誘客を図るため、和泉市立青少年の家を大規模リニューアルし、多くの世代が集う全く新たな観光施設として再整備することで、人口減少及び少子高齢化が進んでいる本市の南部地域における交流人口の増加を図り、和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるまちづくりの目標の一つである「まちの個性を伸ばし、新たな魅力とにぎわいが創出されるまち」の実現を目指す。						
予 算 (R7年度)		内 訳	金額(円)	内 訳	金額(円)	決 算 (R7年度)	内 訳	金額(円)	内 訳	金額(円)
		改修工事費	641,454,000				改修工事費	0		
		工事管理費	14,138,000				工事管理費	2,170,000		
		備品購入費	50,000,000				備品購入費	0		
		ソフト事業費	5,000,000				ソフト事業費	0		
		計		710,592,000			計		2,170,000	
令和7年度の取組	取組①名称：改修工事着手									
	取組の内容	ハード面での利用活性化策として、内装の木質化や屋外型サウナの設置に向けた改修工事にR8年2月から着手した				取組の意図・目的	南部地域の交流人口増加の起爆剤となる新たな交流拠点施設となることをめざし、多くの世代が集える施設を整備する			
							取組の実績・成果	足場組み、内装撤去等を実施した工事監理については、年度末時点で日割りによる出来高検査を実施予定		
今後の取組	令和9年1月竣工を目指し、工程通りに工事の進捗管理を行っていく。									

KPI（重要業績評価指標）	交付金対象事業	KPI①：近隣の物販施設（道の駅いずみ山愛の里）の売上高			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		365,546,440	-	-	400,000,000
		KPI②：（仮称）和泉市南部宿泊施設における年間利用者数（市外利用者のみ）			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		9,112	-	-	15,738
		KPI③：（仮称）和泉市南部宿泊施設における閑散期（10月～2月）の年間利用者数			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		1,467	-	-	2,824
		KPI④：（仮称）和泉市南部宿泊施設における企業による年間利用者数			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		0	-	-	336
		KPI⑤：近隣施設（榎尾山グリーンランド、総合スポーツセンター、南部リージョンセンター、道の駅いずみ山愛の里、いずみふれあい農の里）における利用者数			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		438,150	-	-	460,055
		KPI⑥：（仮称）和泉市南部宿泊施設における利用者満足度			
		基準値 （事業開始前時点）	目標値 （令和7年度）	実績値	【参考】事業最終年の目標値 （令和13年度）
		0	-	-	90
総合戦略における位置付け		基本目標	市内主要15施設への来訪者数		
		数値目標	基準値 R元：1,281,083人 → R7：1,595,000人		
所管課の評価	令和7年度における取組の効果	評価	評価理由		
		B 効果的だった	既存備品や配線の撤去等をスケジュール通り行い、リニューアル工事が予定通り進んでいるため。 また、指定管理者の選定も滞りなく行えたため。		